

熊本県立荒尾支援学校進路便り

わーく&らいふ

令和6年度 第4号（通巻91号） 9月20日発行

■CONTENTS■

【トピック】令和6年度 ARA・SHI福祉・就労セミナー開催

本校は様々な方法で、児童生徒、保護者の皆様に対する、高等部卒業後の進路に関する情報提供支援に力を入れています。なかでも、ARA・SHI福祉・就労セミナー（福祉サービス事業所説明会）は、児童生徒・保護者と地域をつなぐ情報提供システムとして、平成29年度から毎年開催してきた本校独自の取組です。（コロナ禍により中止した令和3年度・4年度を除く。）



本年度はその発展として、親子で進路について学ぶ場を創出するべく、夏季休業中に2回開催しました。それぞれ多くの参加者があり、子どもたちも真剣に話を聞いたり質問したりする姿が見られました。各回の概要をお伝えします。

1 概要

【第1回】7月31日（水） 対象：就労継続支援B型事業所 事業所数13

（とらいふサポーター、就労支援センター風工房、WAKABA、就労支援センターほし、自立支援センターひまわりの里、通所施設なかま、ふくとく本舗、荒尾きぼうの家、ニコラ、るぴなす、第二天水学園、ピュアマインド、銀河ステーション） 説明会参加者数 8家族13人

【第2回】8月2日（金） 対象：就労継続支援A型、就労移行支援、就業・生活支援センター、熊本県立高等技術専門校 事業所数12

（合同会社BLOOM、SHIKIRU、わかちあい共生（たまむすび）、なごみトライズ、就労・自立支援センターたんぽぽ、スマイルファクトリー、就労支援センターワンピース、なごみサポート、ルピカ、ティオ大牟田築町、熊本県有明障がい者就業・生活支援センターきずな、熊本県立高等技術専門校 総合実務科） 説明会参加者数 19家族34人

2 参加者の声(参加者アンケートより一部抜粋)

【保護者】

〇たくさんの方々に来ていただいて、気になっていたところの話を聞くことができてよかった。

△時間をもう少し長くしてほしい。

△すべてを回れないため、資料だけでももらえるようにしてほしい。

【事業所】

- 少人数で顔や反応を見ながらお話ができました。
- 緊張したけど楽しかったです。（本校卒業生）
- いい機会をいただき、ありがとうございました。
- △教室ごとの説明もよかったが、一緒にできたら今後に生かせると思う。


たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。より実りのある会にできるよう、今後の開催や運営に生かしていきたいと思えます。

3 がんばる卒業生の声

中には、事業所側として本校卒業生の参加もあり、一生懸命質問に答えてくれました。以下に質疑の一コマを紹介します。

- Q.「学生時代に頑張っていてよかったこと、しておいた方がよかったことはありますか？」
- A.「作業のスピードを速くできるようにしておくといいと思えます。ただやるのではなく、自分でやり方を工夫するいいと思えます」
- 「コミュニケーションが苦手だったけれど、就職してから少しずつ取れるようになってきました」

【サービス管理責任者の方から】

「学生時代から、コミュニケーションをもう少し頑張っていれば、もっと楽しかったかもしれないですね。自分で自分のことを伝えられるようになると、交流の輪が広がりますね」

「仕事を始め、お金を貯めて親孝行がしたい」という目標に向かって努力し、家族旅行を実現されたそうです。とても生き生きと働く卒業生の姿を見ることができました。



4 今後の予定

第4回 10月4日（金）	生活介護・施設入所支援	荒尾総合文化センター 第1・第2会議室 0968-66-4111
第5回 11月8日（金）		

今回、夏季休業中に2回開催し、親子で学ぶ姿が多く見られました。10月～11月にも保護者を対象に予定していますので、たくさんのご参加お待ちしております。ご不明な点がありましたら、お気軽に学校までお問い合わせください。

編集後記

第1回、2回とも小学部から高等部まで幅広い年代の生徒及び保護者の参加がありました。進路というと、まだまだ先のように感じがちですが、自分のこととして、早めに情報収集を行うことが大切だと、今回改めて感じました。また、セミナーの中で「好きなことを仕事にするのは難しいかもしれないが、好きなことがある人は、そのために仕事を頑張ることができる。人生が豊かになる」という言葉が印象に残りました。自分の人生を豊かにできるよう、私自身も見つめ直ししていきたいと思えます。（文責：宮本）